

わたしのビオトープ

～生き物がしあわせにくらす場所のかんさつ～

津奈木町立津奈木小学校 3年 林田 真帆

1 調べたわけ

わたしは生き物がすきで、いろいろな生き物をかっています。上手にせわをしないとすぐ死んでしまうのもいれば、外の金魚のようにあまりせわをしなくても長生きするのもいてふしぎに思っています。どんなかんきょうを作れば生き物が元気に生きていけるのか調べてみました。

2 調べ方

- (1) エサをやらなくても長生きしている金魚のかんきょうを毎日かんさつする。
- (2) 町の川のかんさつ(まわりの自然のかんさつ・生き物、ドロ、しょく物の採集)
- (3) 採集した生き物のかんきょうをかえてかんさつする。
- (4) 生き物にどんなかんきょうがよいかまとめる。

3 調べた結果

- (1) 金魚ばちの水は雨がふると入れかわり、金魚の食べているコケにはアメーバやミジンコなどプランクトンがたくさんいる。
- (2) 町の川には「ガマ」や「うき草」の他、帰化植物の「ホテイアオイ」があった。採集した「クロメダカ」「ヌマエビ」「カワニナ」は、エサをやりすぎると死ぬ・他の生き物の死がいを食べる・少しきたくない水にすむ生き物と書いてあり、人がせわしなくても生きられることがわかった。
- (3) かんきょうをかえてわかったこと
 - ④発ぼうスチロールの池（日なた・生き物あり・しょく物なし）
 - ⑤発ぼうスチロールの池（日かげ・生き物なし・しょく物ありうき草のみ）
 - ⑥石の池（日なた・生き物あり・しょく物ありホテイアオイとうき草）

	目立ったこと	水	生き物	温度	池に来た生き物
④の池	水のへんか	5日もたつと黄色くにごり、25日たつと見えない	ぼうふらはわかなかった メダカは水面に出て息をする	朝夕、⑥より冷たい	カエル すみはじめた しばらくたつと2ひきになった
⑤の池	うき草のせい長 25日で水面をおおいつくす程ふえた	黄色いがとう明で、にごらなかつた	ぼうふらがうようよわいた	朝夕、④⑥より冷たい	何もこなかつた
⑥の池	ホテイアオイのせい長 うき草はまけてしまふえない	黄色いがとう明で、にごらなかつた	ぼうふらはわかなかった メダカは元気でさつとかくれる	発ぼうスチロールの池 ④⑥よりあたたかい いつも30℃	シオカラトンボ 何度もやってくるようになった

4 まとめ

ビオトープとは地いきの自ぜんがお手本だと知りました。太陽→温度、雨→水、植物→プランクトン→エサになる。いろんなことがつながって生き物は生きていとわかりました。へやの中で生き物が育たない理由だと思いました。わたしの池にはトンボやカエルが来てくれてとてもうれしかったです。生き物にはまわりに自ぜんがあるのが大切なのだと思いました。地球は大きなビオトープだから自ぜんを大切にしたいです。